

# 需給調整市場の運用等について

第19回 制度設計・監視専門会合  
事務局提出資料

2026年3月30日（月）



電力・ガス取引監視等委員会  
Electricity and Gas Market Surveillance Commission

# 1. 3月中旬までの需給調整市場の動き

2. B種電源の固定費回収状況（10～12月）について

3. 需給調整市場の監視状況の報告

# 前日取引（三次調整力②）の動き（2025年4月1日～2026年3月13日）

## 前日取引の概況（4～1月は確報値、2～3月は速報値）

- 2月の平均約定単価は、中国、四国及び九州以外のエリアにおいて、前月比で上昇した。
- 2月の最高約定単価は、東京（48.99円→200円）、関西（24.66円→200円）及び九州（24.66円→200円）エリアにおいて、前月と比較して大きく上昇した。

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	
平均約定単価※1 (円/ΔkW・30分)	4月	2.91	0.86	1.89	0.67	0.43	0.57	0.44	0.38	1.03
	5月	0.48	1.39	3.12	0.85	0.64	0.53	0.43	0.36	1.19
	6月	0.48	0.90	1.20	0.57	0.52	0.59	0.45	0.36	1.61
	7月	2.78	0.61	0.92	0.84	0.52	0.44	0.54	0.36	1.02
	8月	3.32	1.07	2.33	1.39	0.66	0.55	0.55	0.37	1.24
	9月	1.17	0.63	1.59	0.80	0.58	0.59	0.52	0.37	1.74
	10月	0.41	0.58	0.91	0.70	0.55	1.18	0.60	0.35	1.27
	11月	1.76	0.37	0.37	1.20	0.75	1.08	0.39	0.32	0.85
	12月	1.49	0.35	0.35	0.53	0.41	0.35	0.34	0.31	0.63
	1月	1.53	0.66	0.39	1.34	0.68	0.37	0.37	0.30	1.43
	2月	2.02	0.74	0.95	1.84	0.69	1.18	0.36	0.30	1.16
	3月※2	0.45	1.44	0.39	0.70	0.37	1.01	0.36	0.29	1.41

(※1) 平均約定単価は、「想定費用/約定量合計」で算出。

(※2) 3月は3月1日～13日までのデータを使用。

EPRXデータより事務局にて作成

# 前日取引（三次調整力②）の動き（2025年4月1日～2026年3月13日）

最高約定単価 (円/ΔkW・30分)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	79.91	195.00	97.00	200.00	4.02	200.00	33.25	7.19	60.00
	5月	7.59	195.00	195.00	200.00	75.00	200.00	39.87	78.83	197.00
	6月	49.00	195.00	97.00	200.00	200.00	75.00	89.00	10.96	197.00
	7月	49.00	195.00	200.00	200.00	65.54	84.41	89.00	89.00	89.00
	8月	97.00	195.00	133.10	200.00	92.99	200.00	49.00	49.00	11.04
	9月	65.75	195.00	121.85	200.00	6.47	92.99	92.99	92.99	197.00
	10月	16.32	195.00	163.24	6.78	12.29	197.00	25.89	149.94	197.00
	11月	49.00	195.00	47.11	200.00	200.00	200.00	5.26	0.35	30.73
	12月	49.00	36.00	4.80	24.66	4.54	6.66	15.00	6.55	4.99
	1月	49.00	195.00	48.99	200.00	194.00	24.66	194.00	24.66	24.66
	2月	49.00	195.00	200.00	200.00	86.67	200.00	30.73	0.36	200.00
3月※2	49.00	195.00	5.79	197.80	65.00	77.57	4.83	4.83	6.83	

最低約定単価 (円/ΔkW・30分)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	0.33	0.33	0.33	0.33	0.35	0.33	0.33	0.33	0.33
	5月	0.32	0.33	0.33	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	6月	0.31	0.31	0.30	0.35	0.35	0.35	0.35	0.33	0.35
	7月	0.34	0.34	0.03	0.33	0.34	0.34	0.34	0.33	0.34
	8月	0.33	0.32	0.32	0.32	0.33	0.32	0.34	0.32	0.32
	9月	0.10	0.34	0.34	0.33	0.34	0.34	0.34	0.32	0.34
	10月	0.32	0.32	0.30	0.33	0.33	0.33	0.33	0.32	0.33
	11月	0.24	0.26	0.26	0.32	0.32	0.32	0.32	0.31	0.32
	12月	0.28	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
	1月	0.29	0.31	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.29	0.30
	2月	0.28	0.28	0.30	0.30	0.30	0.30	0.28	0.28	0.29
3月※2	0.28	0.3	0.31	0.3	0.3	0.3	0.3	0.28	0.3	

(※2) 3月は3月1日～13日までのデータを使用。

EPRXデータより事務局にて作成

# 前日取引（三次調整力②）の動き（2025年4月1日～2026年3月13日）

想定費用※3 (億円)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	1.06	1.30	4.83	0.49	0.03	1.04	0.17	0.25	1.03
	5月	0.09	2.26	9.69	1.48	0.12	0.98	0.32	0.28	3.63
	6月	0.22	1.34	3.58	0.79	0.09	0.69	0.26	0.18	3.93
	7月	1.25	0.75	2.10	1.16	0.04	0.90	0.12	0.29	1.61
	8月	1.38	1.46	4.17	1.06	0.05	0.73	0.14	0.27	1.78
	9月	0.23	0.68	2.93	0.61	0.03	0.90	0.39	0.33	5.58
	10月	0.18	0.65	1.47	0.15	0.02	1.51	0.20	0.23	0.98
	11月	1.54	0.43	0.52	0.59	0.03	0.74	0.11	0.20	0.91
	12月	1.35	0.47	0.25	0.15	0.02	0.20	0.13	0.11	0.52
	1月	1.74	1.16	0.33	0.95	0.02	0.28	0.19	0.12	2.75
	2月	2.38	1.15	2.54	2.44	0.04	1.40	0.26	0.17	2.32
3月※2	0.16	1.51	0.63	0.19	0.01	0.73	0.16	0.15	1.19	

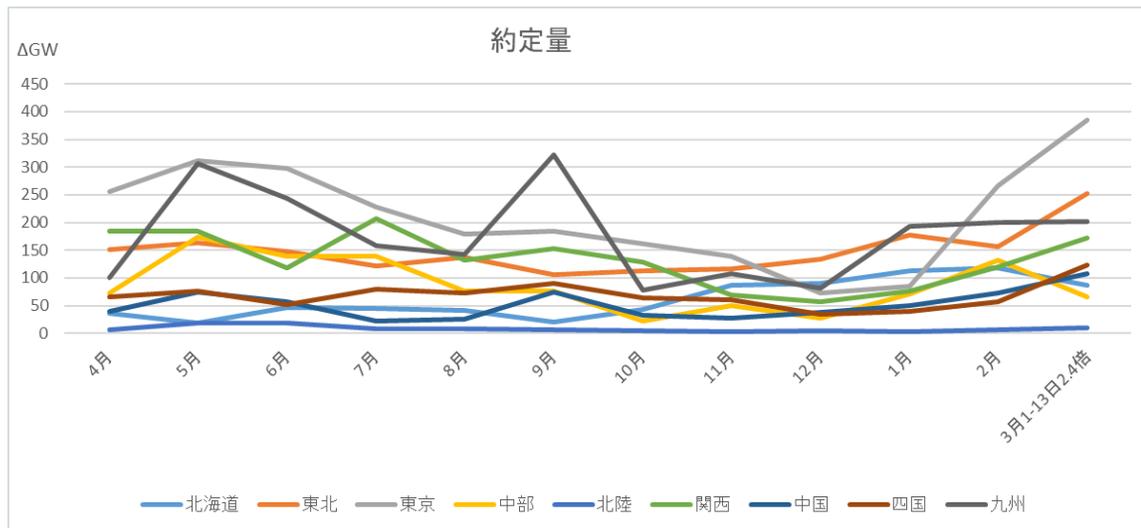
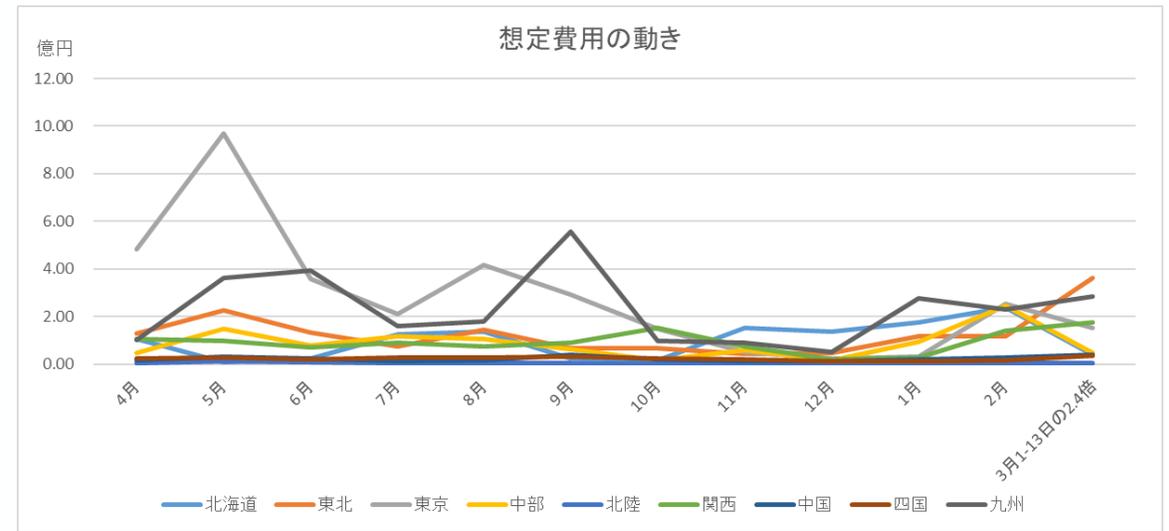
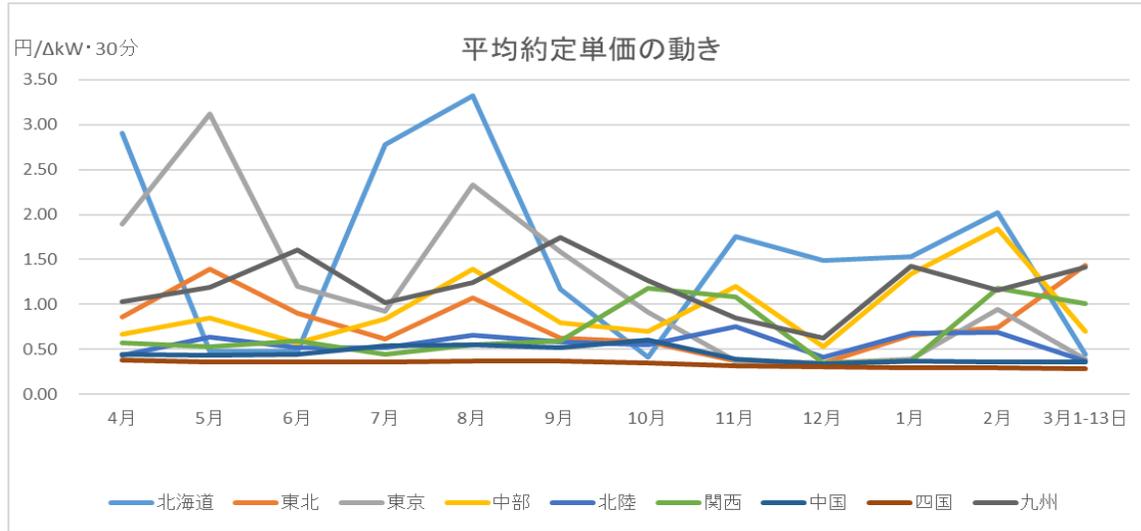
約定量 (Δ MW)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	36,311	150,814	256,045	72,906	6,056	184,701	39,807	65,276	100,619
	5月	18,254	162,719	310,985	173,915	18,283	184,224	74,192	76,443	306,377
	6月	46,533	148,466	298,270	139,357	18,085	117,857	57,585	51,694	244,117
	7月	45,036	122,158	228,692	139,066	8,279	207,277	22,113	80,075	158,428
	8月	41,669	136,822	179,280	76,165	7,806	132,140	26,143	72,655	143,186
	9月	19,926	106,746	184,164	76,180	5,955	152,804	74,587	90,955	321,401
	10月	43,472	112,468	161,046	21,799	3,915	128,160	33,271	64,281	77,285
	11月	87,289	117,137	138,990	49,711	3,516	68,573	27,500	60,972	107,831
	12月	90,980	134,513	72,271	27,402	4,150	57,490	37,160	35,193	81,274
	1月	113,468	176,714	84,345	71,293	2,620	76,896	50,531	39,557	192,363
	2月	117,772	156,896	266,738	132,582	5,710	119,376	73,539	57,814	199,395
3月※2	36,222	104,824	160,340	27,664	3,941	71,736	44,958	51,250	84,284	

(※2) 3月は3月1日～13日までのデータを使用。

(※3) 想定費用は、案件ごとの約定単価×約定量を足上げて算出。未使用の起動費はTSOに返還される点に注意。

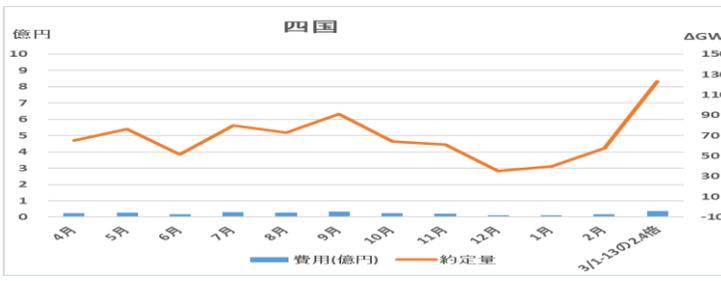
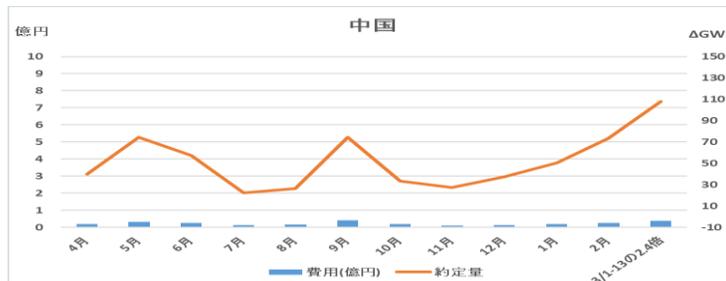
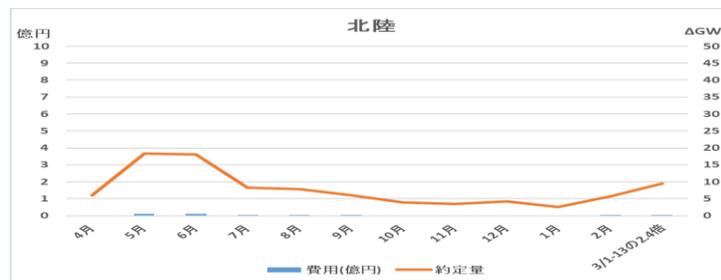
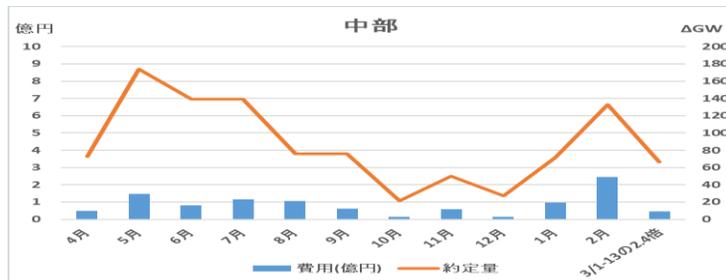
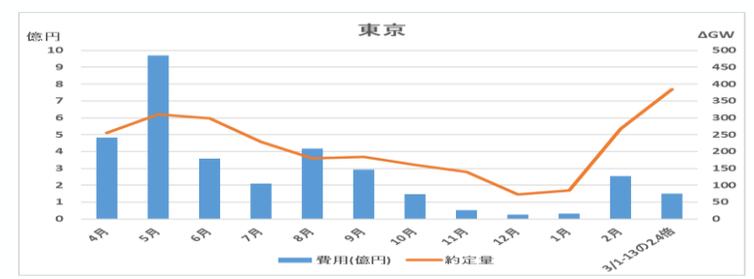
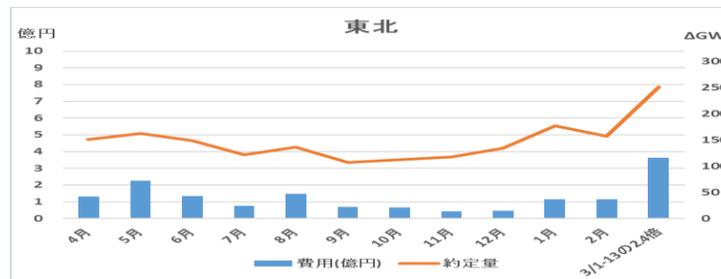
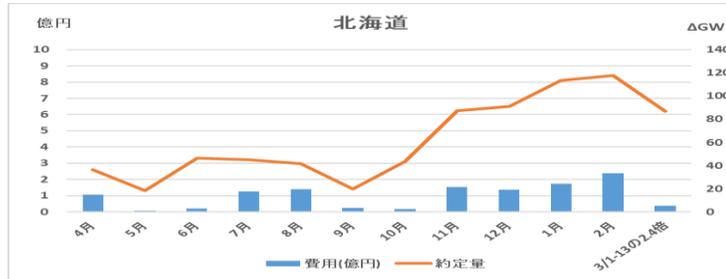
EPRXデータより事務局にて作成

# (参考) 三次②の平均約定単価、想定費用、約定量の動向



(※) 想定費用・約定量：3月は3月1日～13日までのデータを2.4倍して比較。

# (参考) 三次②のエリア別の想定費用、約定量の動向



(※) 3月は3月1日～13日までのデータを2.4倍して比較。

# 週間取引（一次～三次①）の動き（2025年4月1日～2026年3月13日）

## 週間取引の概況（4～1月は確報値、2～3月は速報値）

- 2月の平均約定単価は、東北、中部、北陸及び九州エリアにおいて、前月比で上昇した。
- 2月の最高約定単価は、北海道以外のエリアで上限価格となっていた。
- 2月の想定費用は、東京、中部、北陸及び九州エリアで、前月比で増加した。関西エリアでは、随意契約を結んでいる揚水発電機において、調整力としての運用を一時的に停止していたため、約定量及び想定費用が高い水準となっている。

		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
平均約定単価※1 (円/ΔkW・30分)	4月	3.50	2.84	2.66	1.82	0.95	2.61	1.24	1.79	1.92
	5月	6.35	3.13	2.61	2.07	1.22	3.28	1.16	1.84	1.85
	6月	4.69	3.12	2.16	1.80	1.62	3.57	2.53	1.66	2.08
	7月	4.74	4.09	3.68	3.18	3.92	4.69	3.42	2.27	2.96
	8月	5.52	3.46	2.88	2.76	2.60	3.52	3.07	1.91	3.12
	9月	5.16	3.45	2.44	1.63	2.60	3.59	2.67	2.36	2.73
	10月	5.77	2.74	2.39	1.28	2.23	3.62	2.09	1.54	2.65
	11月	8.09	3.40	3.41	1.37	1.80	3.19	1.68	1.61	1.95
	12月	8.40	3.52	3.63	1.62	1.75	3.40	2.38	1.85	2.56
	1月	7.53	2.29	3.46	1.79	1.38	4.25	2.67	3.02	2.09
	2月	6.00	3.07	3.46	2.56	2.33	3.98	2.11	3.02	2.71
	3月※2	3.51	2.83	4.91	3.49	1.13	2.13	1.52	2.92	2.02

(※1) 平均約定単価は、「想定費用/約定量合計」で算出。週間商品は1ブロック3時間=6コマ（1コマ30分）のため、「約定量合計」は、「表中の約定量×6」で算出。

EPRXデータより事務局にて作成

(※2) 3月は3月1日～13日までのデータを使用。

# 週間取引（一次～三次①）の動き（2025年4月1日～2026年3月13日）

最高約定単価 (円/ΔkW・30分)	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	
	4月	19.51	7.93	19.50	8.23	7.15	10.80	19.51	19.51	19.51
	5月	19.51	19.51	19.51	8.34	6.30	19.51	19.51	17.13	19.51
	6月	19.51	16.47	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51
	7月	19.51	16.47	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51
	8月	19.50	16.47	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51
	9月	19.51	16.47	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	17.78	19.51
	10月	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51
	11月	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	15.39	19.51
	12月	19.52※3	19.52※3	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51
1月	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	20.14※4	19.51	19.51	
2月	15.90	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	
3月※2	10.40	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	19.51	

最低約定単価 (円/ΔkW・30分)	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	0.35	0.35	0.33	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	5月	0.36	0.36	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	6月	0.36	0.36	0.33	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	7月	0.36	0.81	0.03	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	8月	0.36	0.36	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	9月	0.36	0.36	0.35	0.36	0.35	0.35	0.35	0.35
	10月	0.20	0.36	0.33	0.36	0.35	0.33	0.35	0.36
	11月	0.36	0.34	0.32	0.32	0.32	0.35	0.32	0.34
	12月	0.34	0.36	0.34	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
1月	0.36	0.35	0.34	0.35	0.35	0.35	0.35	0.10	
2月	0.36	0.33	0.35	0.33	0.35	0.33	0.35	0.36	
3月※2	0.34	0.35	0.35	0.33	0.35	0.33	0.33	0.36	

(※2) 3月は3月1日～13日までのデータを使用。

(※3) 持ち下げ供出に係る上乘せ分の価格が19.52円となっており、この価格は精算上は支払われない便宜的な価格であることを確認済み。

(※4) 発電事業者の入札価格登録の誤りによるものであり、適切な価格との差額はtsoに返還されることを確認済み。

EPRXデータより事務局にて作成

# 週間取引（一次～三次①）の動き（2025年4月1日～2026年3月13日）

想定費用※5 (億円)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	14.83	25.09	29.63	3.26	2.34	29.57	6.16	4.27	10.72
	5月	25.33	26.97	28.30	3.59	2.24	27.51	4.65	4.58	9.98
	6月	16.74	16.22	22.57	2.63	2.75	31.97	10.68	3.87	9.27
	7月	13.46	7.14	42.49	5.41	5.54	24.79	10.74	6.11	10.73
	8月	6.82	12.02	33.96	3.23	5.03	15.61	10.94	5.33	16.12
	9月	7.06	14.60	31.44	3.22	3.81	17.04	9.73	5.72	15.99
	10月	6.21	21.22	21.90	2.78	4.05	13.92	7.65	3.31	11.95
	11月	6.90	20.76	18.25	5.72	3.25	22.94	4.81	2.74	9.21
	12月	7.43	19.65	20.57	5.51	3.33	23.65	10.22	3.65	5.98
1月	4.95	12.08	21.45	6.97	2.83	28.50	10.98	6.47	8.60	
2月	4.22	8.86	22.41	8.67	4.89	27.22	9.37	6.30	13.07	
3月※2	1.53	5.26	10.23	3.51	1.09	7.96	2.47	2.20	4.42	

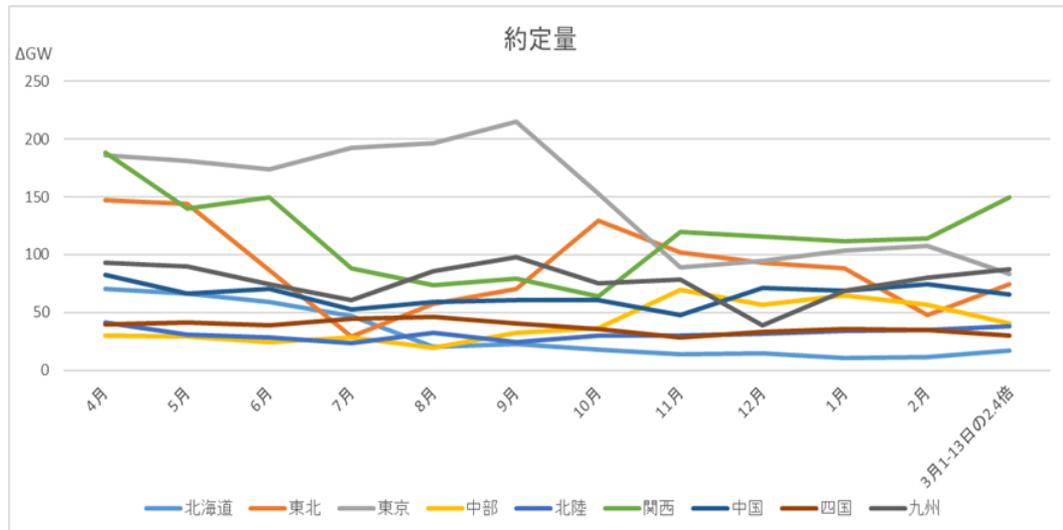
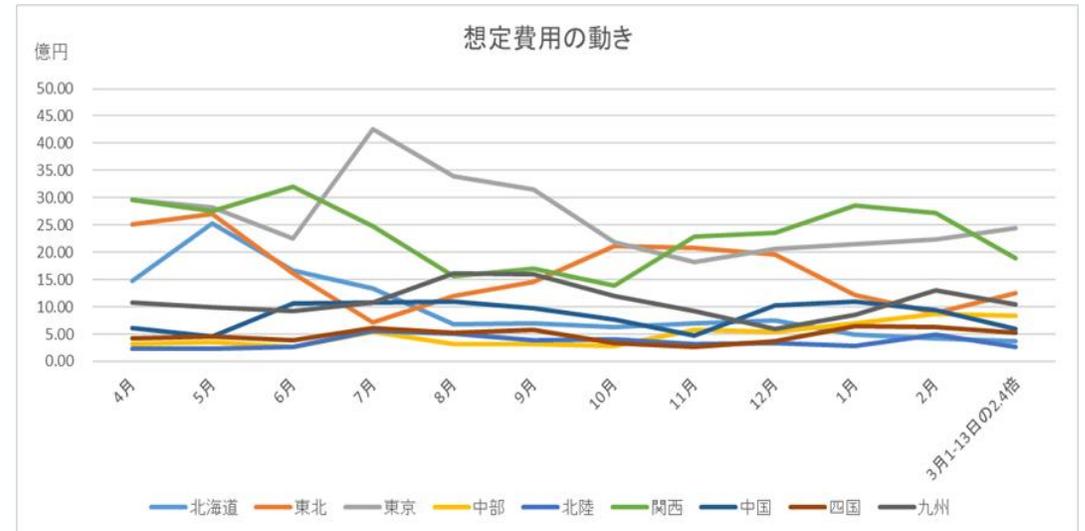
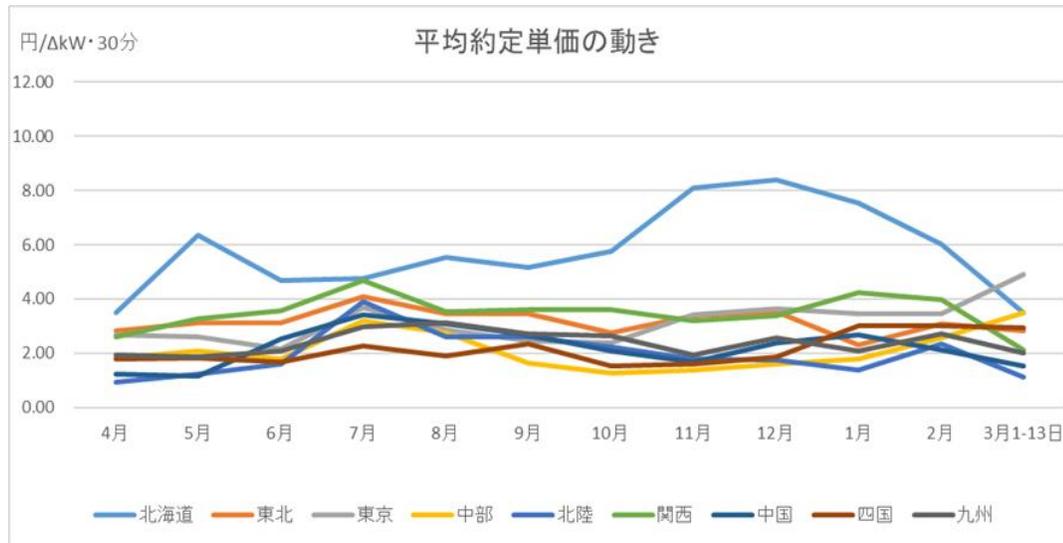
約定量 (ΔMW)		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
	4月	70,523	147,324	185,628	29,814	41,118	188,560	82,591	39,666	93,212
	5月	66,510	143,681	180,720	28,886	30,527	139,615	66,588	41,450	90,092
	6月	59,516	86,736	174,184	24,269	28,232	149,309	70,201	38,962	74,435
	7月	47,366	29,134	192,293	28,389	23,521	88,119	52,359	44,899	60,417
	8月	20,612	57,900	196,414	19,495	32,282	73,954	59,400	46,405	85,964
	9月	22,780	70,638	214,708	32,821	24,390	79,151	60,702	40,316	97,763
	10月	17,925	129,050	152,942	36,175	30,249	64,070	60,962	35,741	75,185
	11月	14,210	101,793	89,084	69,814	30,115	119,870	47,890	28,348	78,628
	12月	14,745	92,987	94,537	56,735	31,767	116,000	71,483	32,922	38,993
1月	10,949	87,974	103,277	64,857	34,186	111,811	68,469	35,731	68,447	
2月	11,703	48,076	107,948	56,524	35,053	114,064	74,175	34,757	80,400	
3月※2	7,266	30,957	34,764	16,754	15,968	62,429	27,191	12,513	36,493	

(※2) 3月は3月1日～13日までのデータを使用。

(※5) 想定費用は、案件ごとの約定単価×約定量を足上げて算出。未使用の起動費はTSOに返還される点に注意。

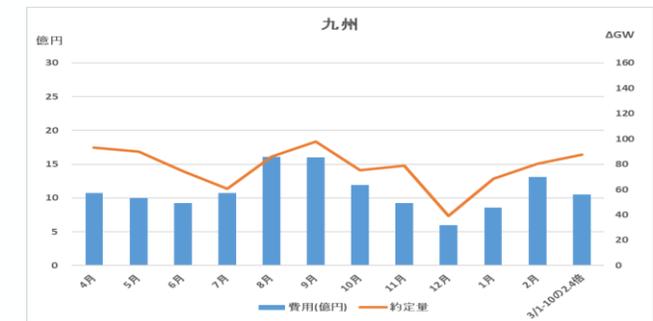
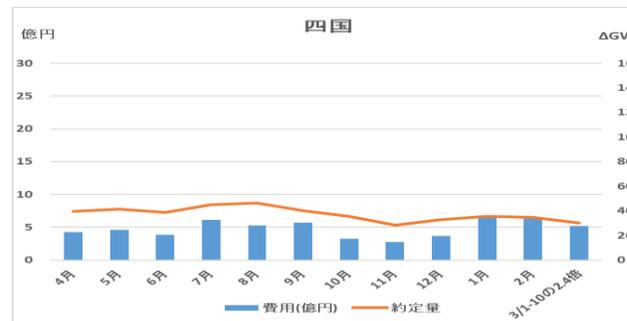
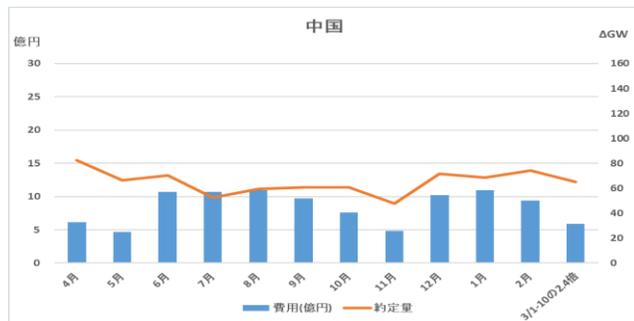
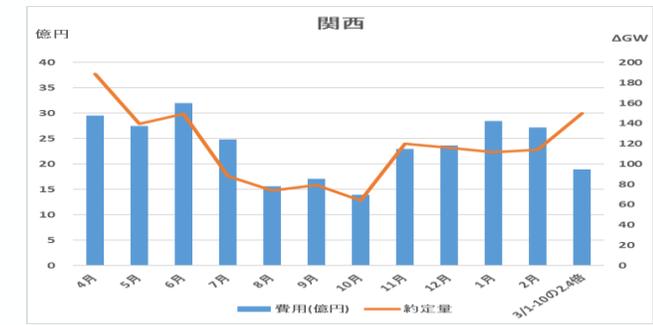
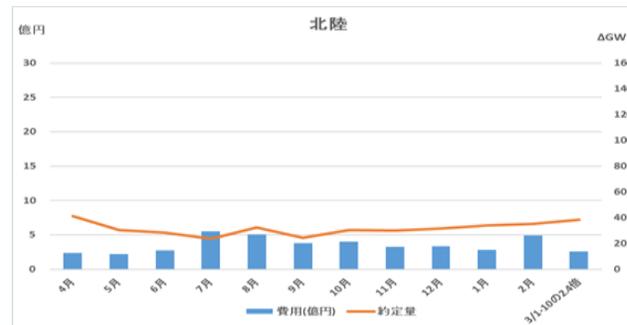
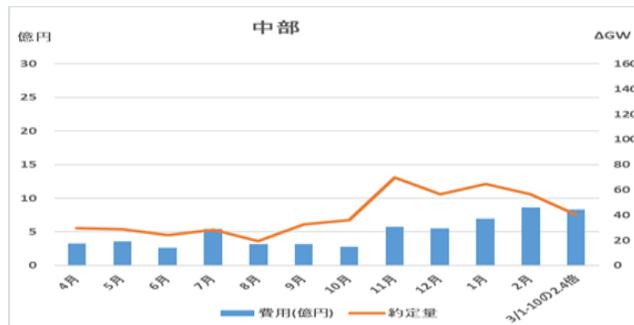
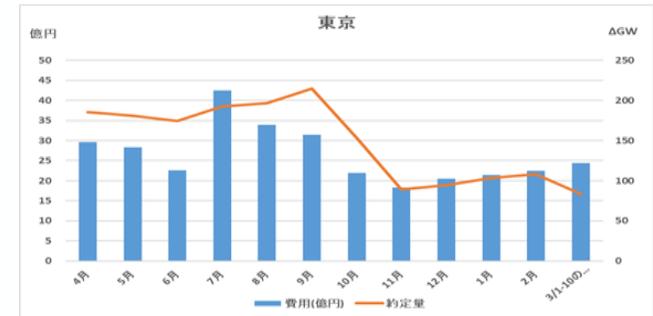
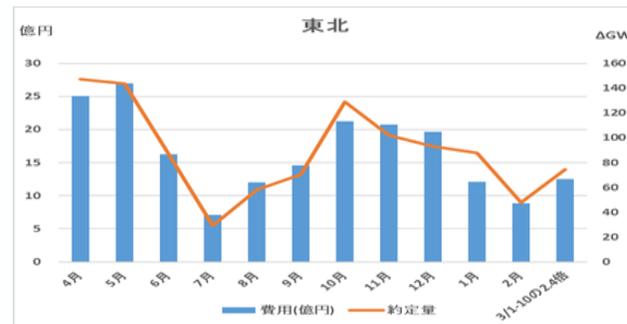
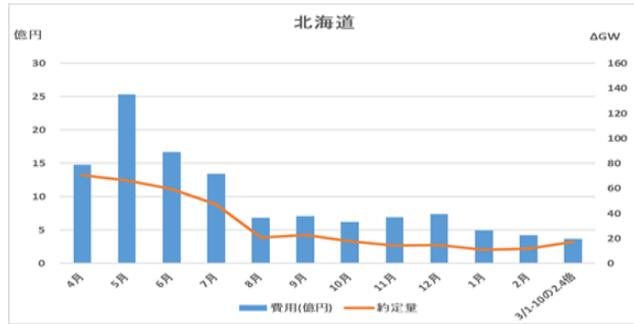
EPRXデータより事務局にて作成

# (参考) 一次～三次①の平均約定単価、想定費用、約定量の動向



(※) 想定費用・約定量：3月は3月1日～13日までのデータを2.4倍して比較。

# (参考) 一次～三次①のエリア別の想定費用、約定量の動向



(※) 3月は3月1日～13日までのデータを2.4倍して比較。

# 各エリアの募集量・応札量・調達率の動向

## 各エリアの募集量・応札量・調達率の概況（2025年4月1日～2026年3月13日）

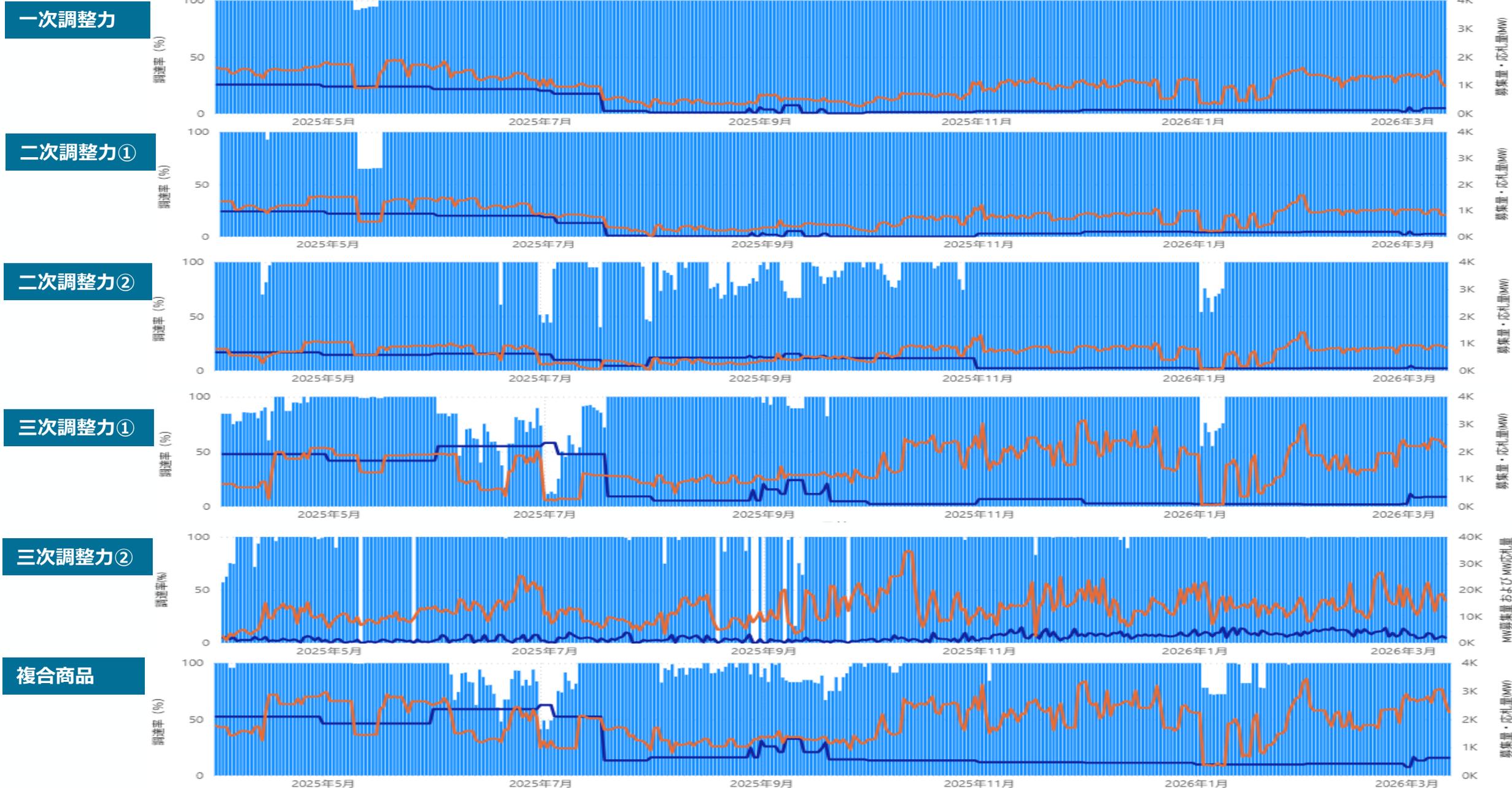
- 2025年4月1日～2026年3月13日の募集量、応札量及び調達率の状況は次頁以降のとおり。
- **一次調整力**については、依然として**多くのエリアで未達が多い状況**。
- **複合商品**の動向はエリアによって様々であるが、直近、**多くのエリアで応札量が募集量を超過している状況**。
- **関西エリア**では、随意契約を結んでいる揚水発電機において、調整力としての運用を一時的に停止していたため、募集量が増加していた。
- **中部エリア**では、随意契約を結んでいる揚水発電機の稼働量の低下により一時的に募集量が増加していたが、稼働量の復調等により、募集量が減少した。
- 3月14日受渡分から全商品前日取引化が開始されたため、23頁以降で直近の状況は報告するが、約定単価や調達費用の動向含め、引き続き状況を注視していく。

### <参考>

- 2025年4月 中部及び東北エリア 揚水随契開始（※中部エリアは2024年度も実施）
- 2025年4月 全エリア EPPS動作期待分の控除開始
- 2025年6月 全エリア 自然体余力の控除開始
- 2025年7月 北海道及び関西エリア 揚水随契開始
- 2025年10月 東京エリア 揚水随契開始

# 北海道エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年3月13日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

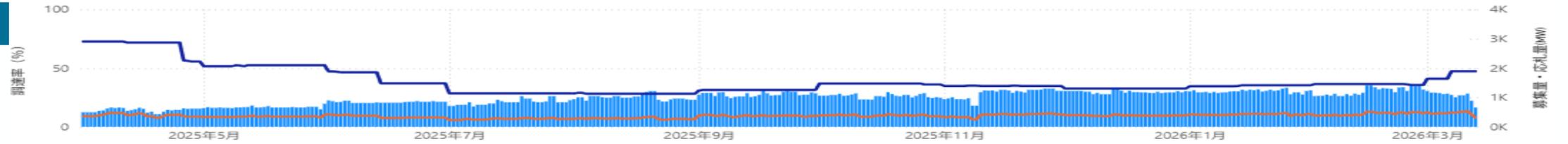


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

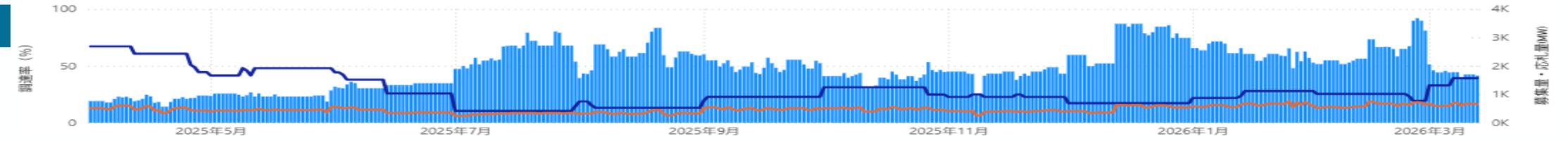
# 東北エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年3月13日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

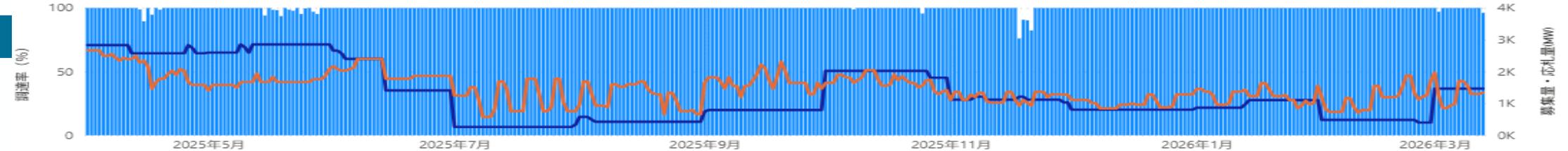
## 一次調整力



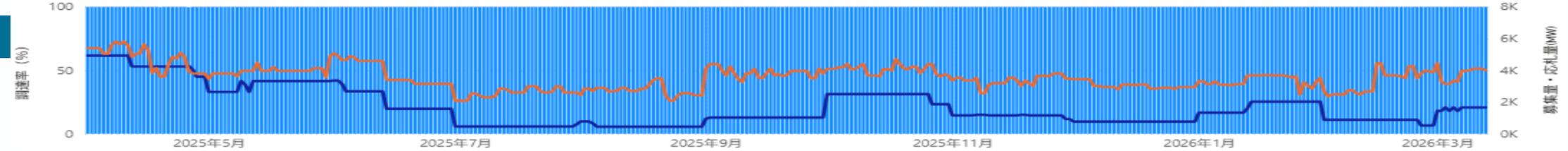
## 二次調整力①



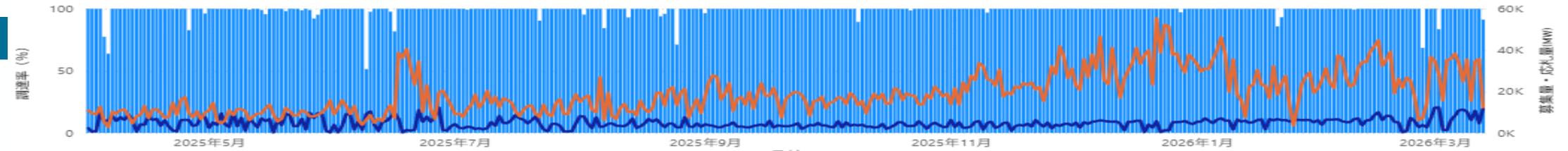
## 二次調整力②



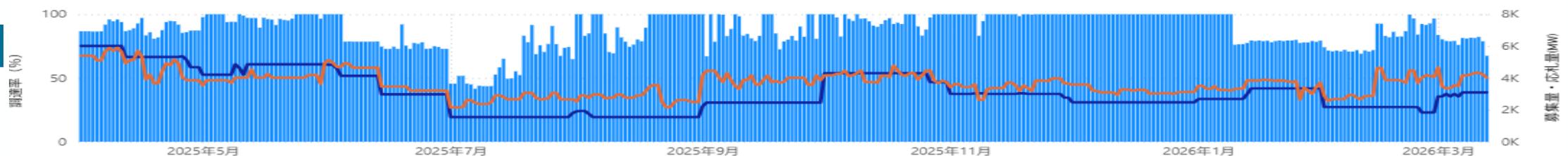
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品



(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

# 東京エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年3月13日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

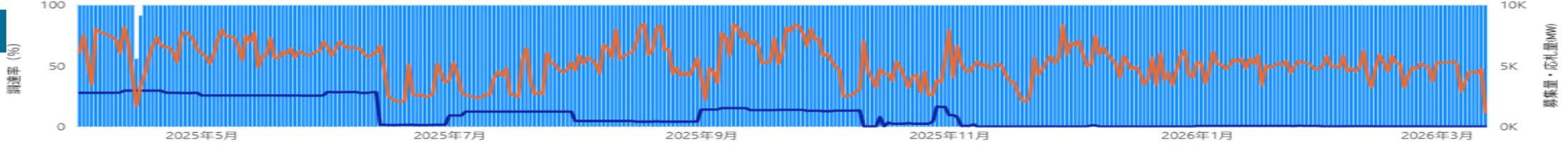
## 一次調整力



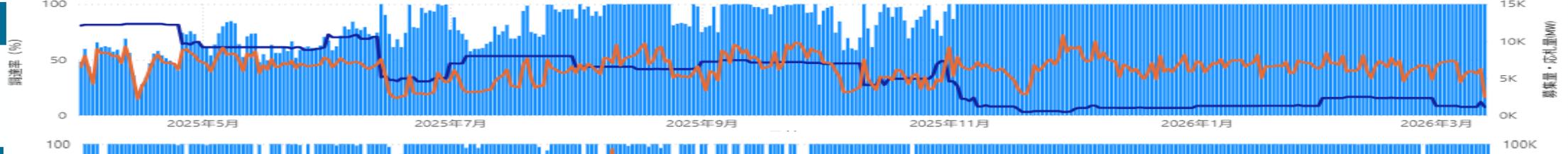
## 二次調整力①



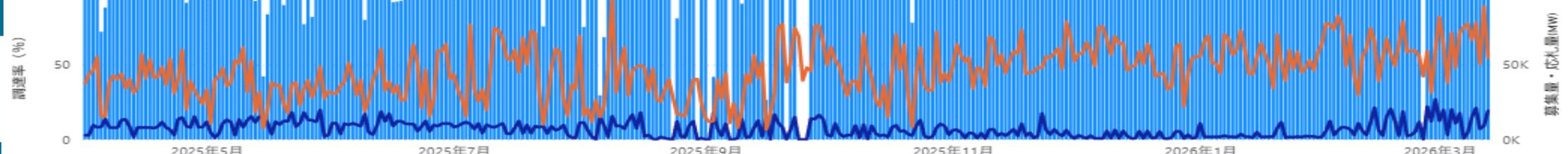
## 二次調整力②



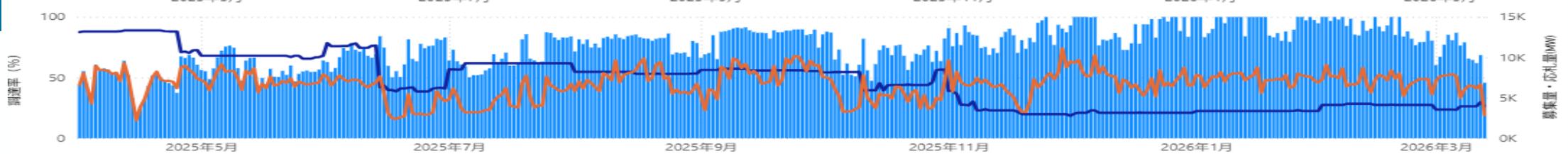
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品

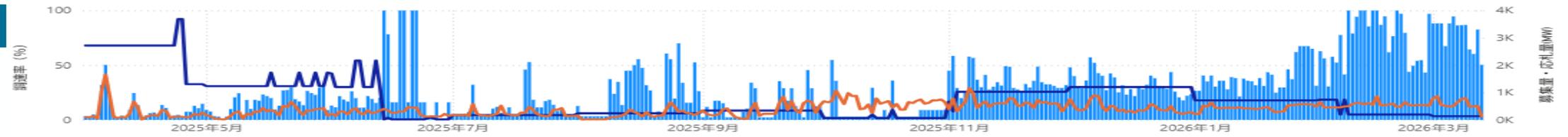


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

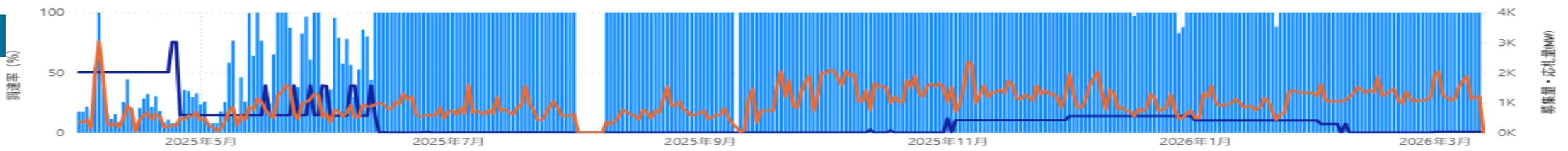
# 中部エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年3月13日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

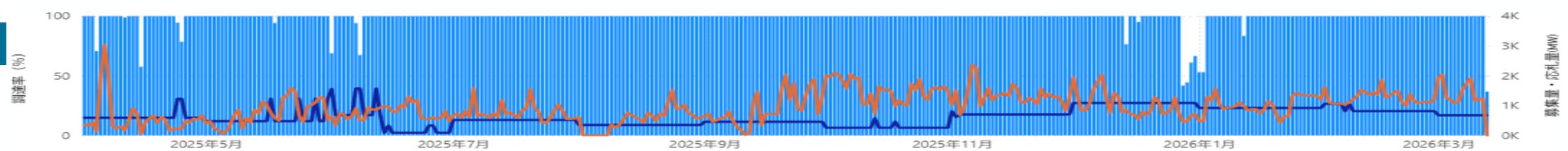
## 一次調整力



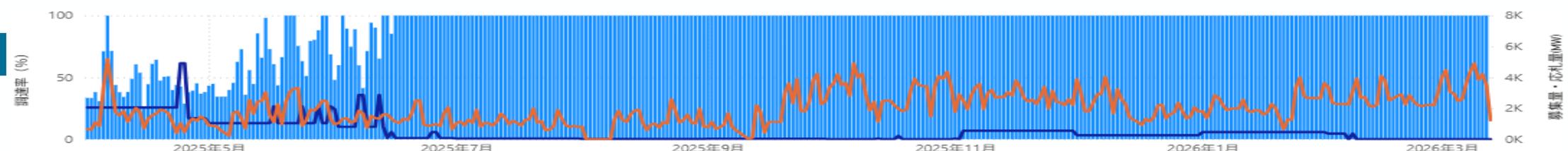
## 二次調整力①



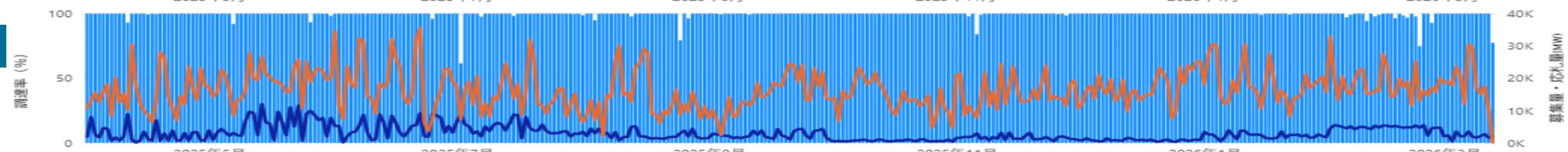
## 二次調整力②



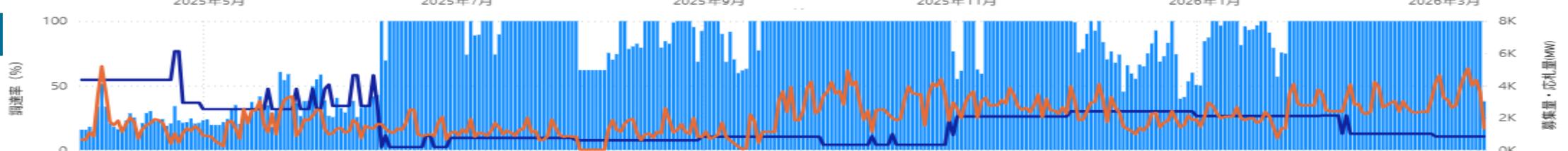
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品



(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

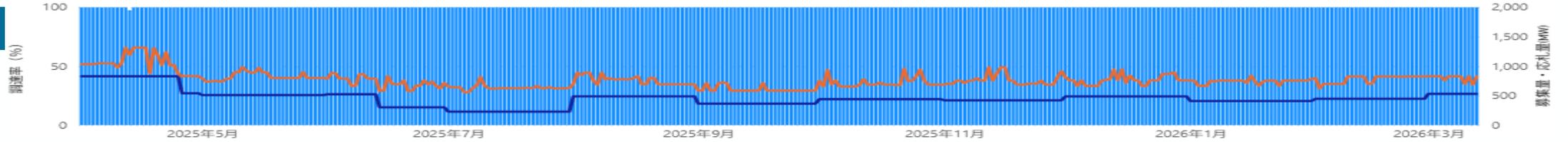
# 北陸エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年3月13日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

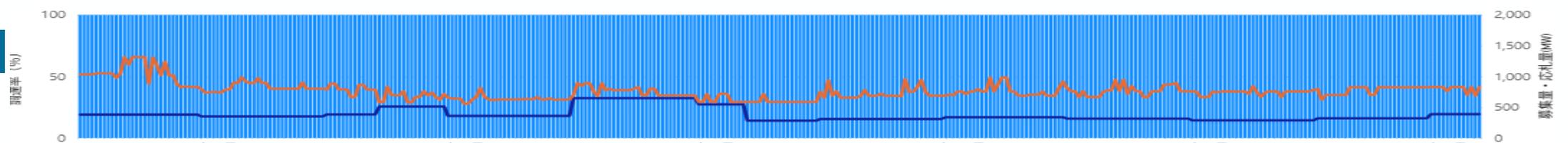
## 一次調整力



## 二次調整力①



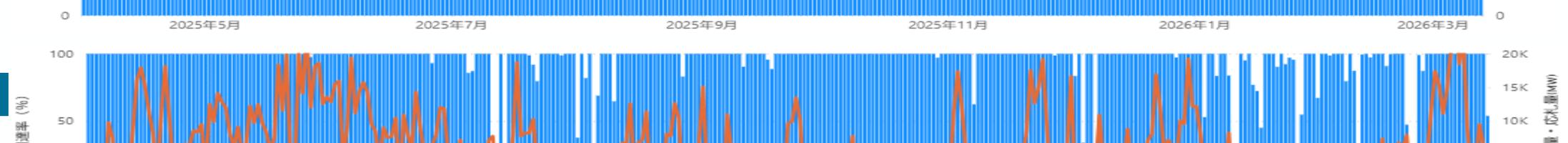
## 二次調整力②



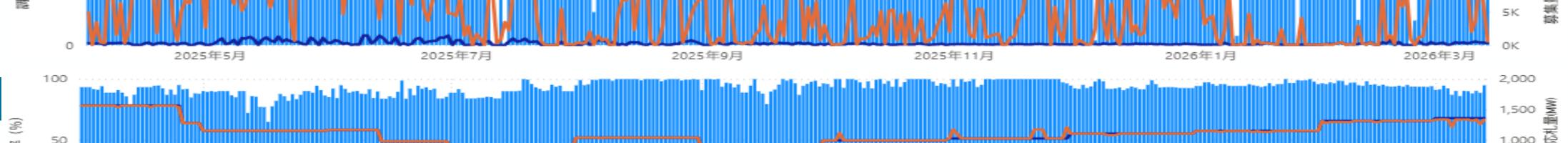
## 三次調整力①



## 三次調整力②



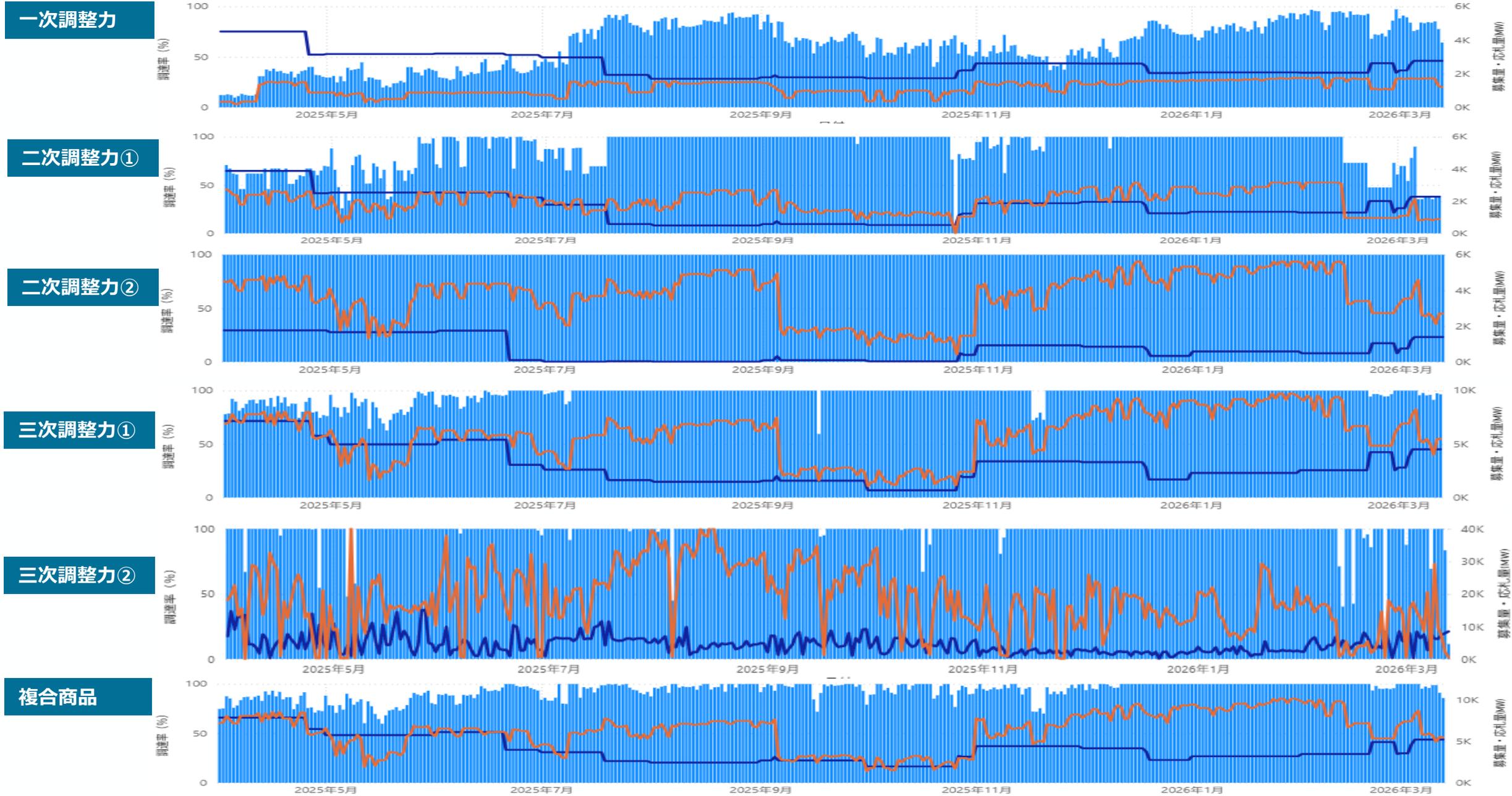
## 複合商品



(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

# 関西エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年3月13日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

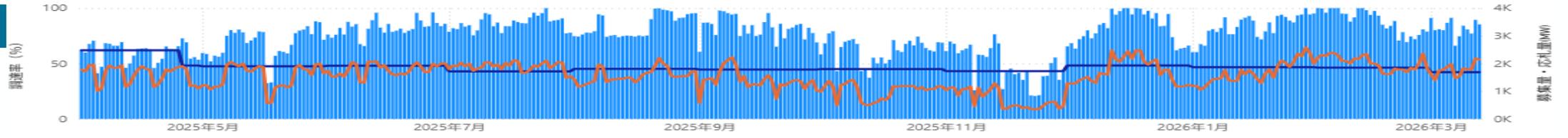


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

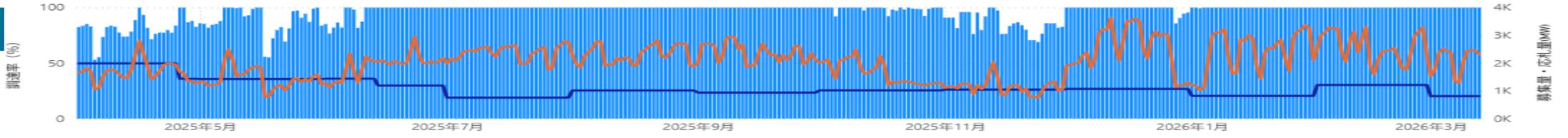
# 中国エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年3月13日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

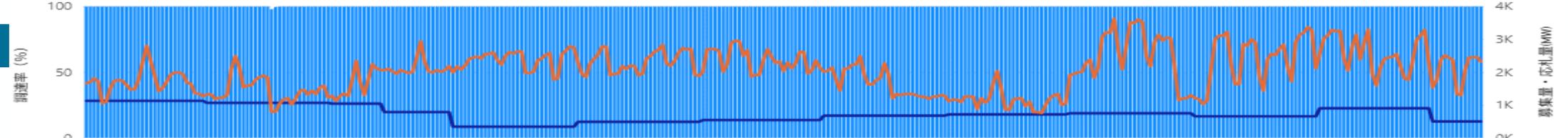
## 一次調整力



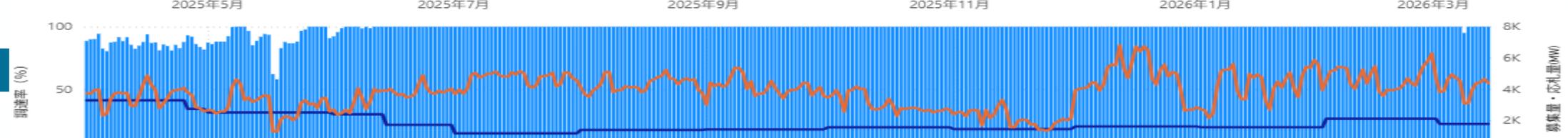
## 二次調整力①



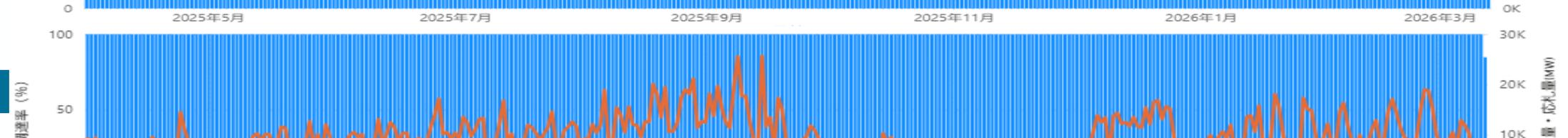
## 二次調整力②



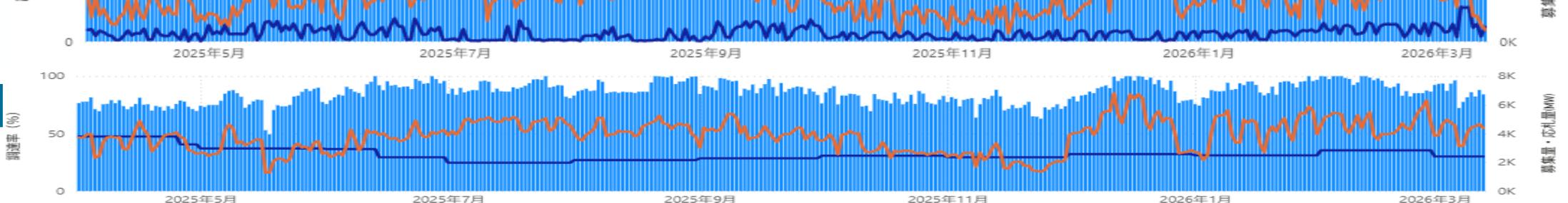
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品

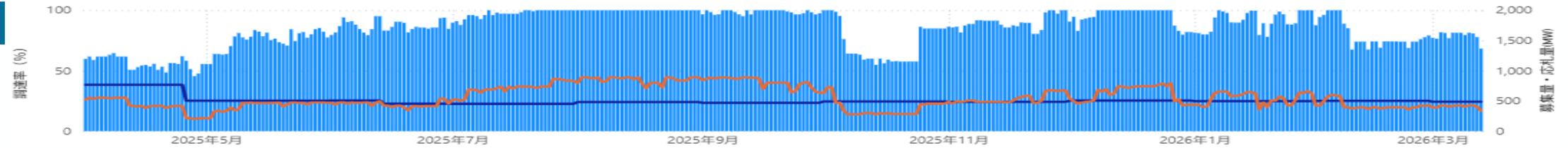


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

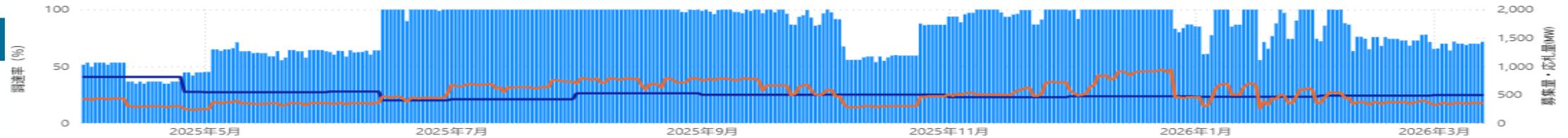
# 四国エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年3月13日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

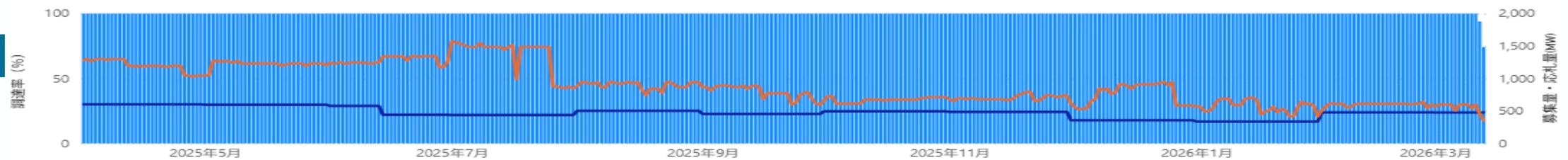
## 一次調整力



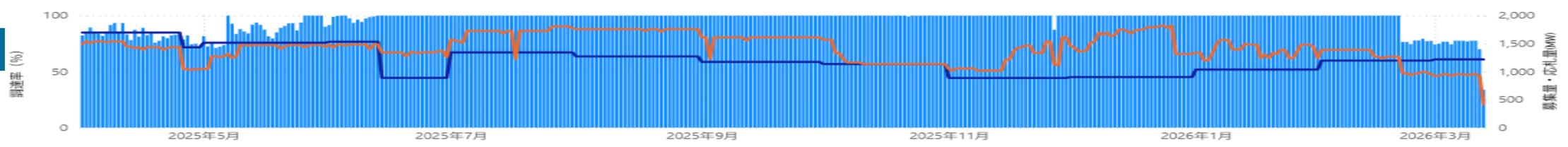
## 二次調整力①



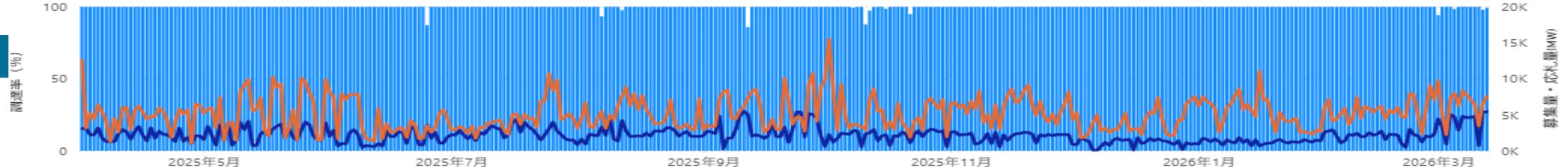
## 二次調整力②



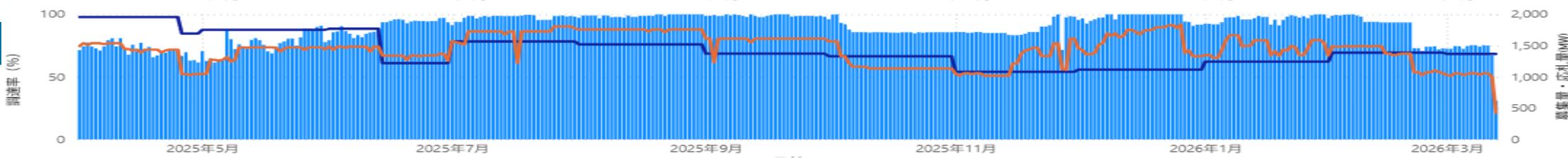
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品

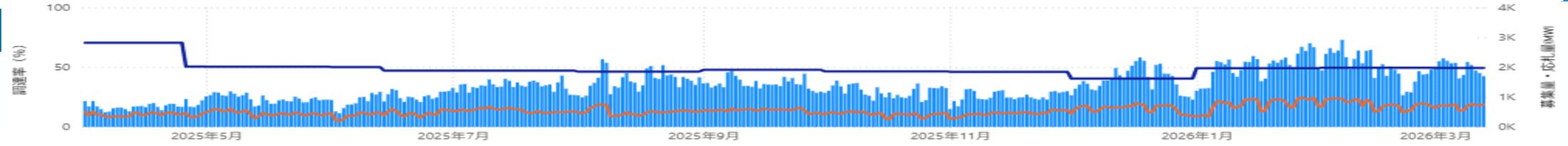


(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

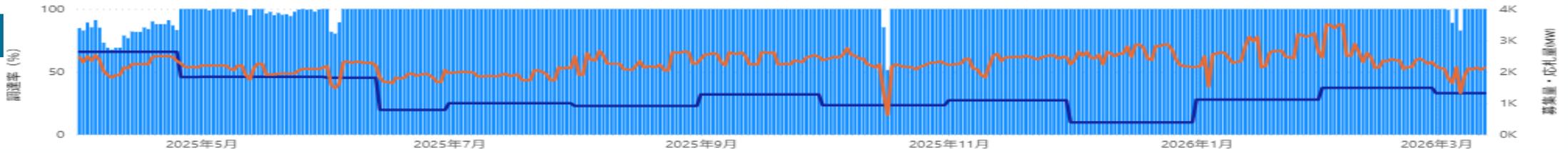
# 九州エリアの募集量・応札量・調達率 (2025年4月1日~2026年3月13日)

● 調達率 ● MW募集量 ● MW応札量

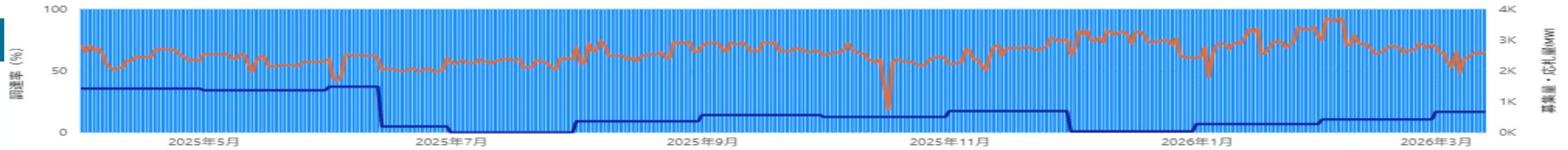
## 一次調整力



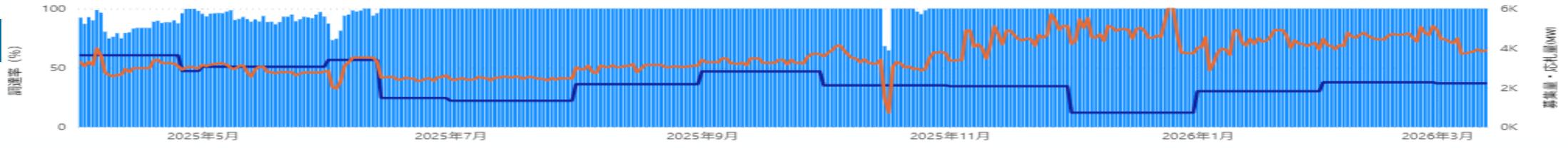
## 二次調整力①



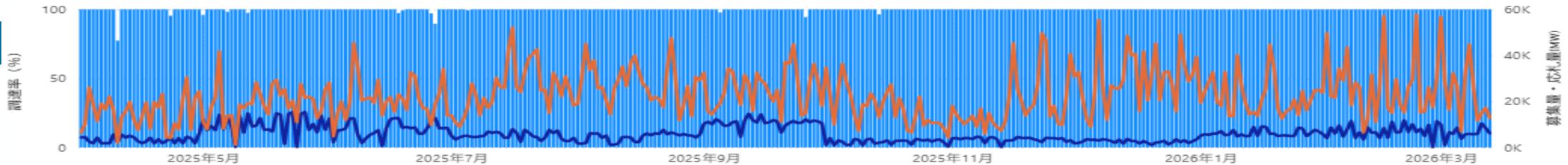
## 二次調整力②



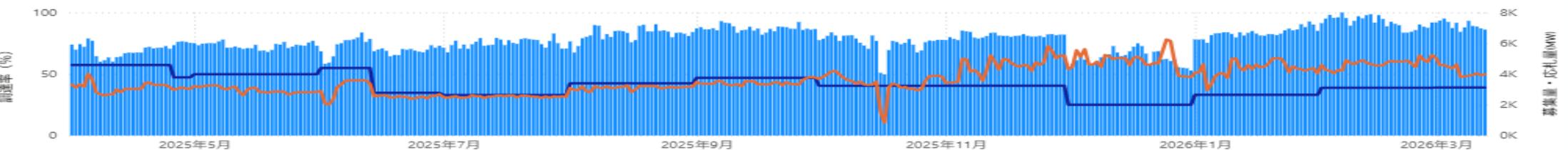
## 三次調整力①



## 三次調整力②



## 複合商品



(※) 日単位での集計のため、募集量と応札量の関係と調達率が一致しない場合がある。

# 前日取引化以降の動き (2026年3月14日～2026年3月20日)

## 前日取引化以降の概況 (速報値)

- 全商品前日取引化や募集量・上限価格の見直しの制度変更が行われた、3月14日以降の1週間の状況は以下のとおり。
- **複合市場**については、**東京及び中部エリアでは3月1～13日までと比較し、平均約定単価が低下した**(東京：4.91円→2.31円、中部：3.49円→1.89円)。両エリアでは、前日取引化以降、安価な札の応札量が増加したことにより、平均約定単価が低下したと考えられる。また、**東京エリアでは依然として一次調整力の調達未達はあるものの、調達率も改善傾向にある**。
- **三次②市場**については、3月1～13日までと比較し、**多くのエリアで平均約定単価が上昇した**。
- 引き続き、前日取引化の動きについて注視するとともに、高値札については適宜事後監視で確認していくこととする。

### 3/14～3/20までの複合市場

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
平均約定単価 (円/ΔkW・30分)	7.32	4.46	2.31	1.89	1.52	1.67	3.91	1.25	2.78
最高約定単価 (円/ΔkW・30分)	15.01	15.00	15.00	15.00	15.00	19.51	19.51	15.00	15.86
最低約定単価 (円/ΔkW・30分)	0.35	0.28	0.35	0.14	0.28	0.11	0.24	0.35	0.24
約定量 (ΔMW)	40,574	118,227	211,449	87,822	41,959	172,374	90,935	58,185	166,215

### 3/14～3/20までの三次②市場

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
平均約定単価 (円/ΔkW・30分)	5.29	5.87	8.08	6.42	3.08	0.98	2.39	1.01	1.05
最高約定単価 (円/ΔkW・30分)	48.99	195.00	97.00	200.00	75.00	200.00	200.00	79.15	44.14
最低約定単価 (円/ΔkW・30分)	0.28	0.35	0.35	0.30	0.34	0.34	0.35	0.30	0.34
約定量 (ΔMW)	18,152	60,334	53,886	4,002	965	33,880	9,408	20,123	38,690

### 【参考】3/1～3/13までの複合市場

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
平均約定単価 (円/ΔkW・30分)	3.51	2.83	4.91	3.49	1.13	2.13	1.52	2.92	2.02

### 【参考】3/1～3/13までの三次②市場

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
平均約定単価 (円/ΔkW・30分)	0.45	1.44	0.39	0.70	0.37	1.01	0.36	0.29	1.41

(※) 平均約定単価は、「想定費用/約定量合計」で算出。

(※) 複合市場の上限価格は、3/14受渡分以降、15円/ΔkW・30分に変更。超過しているものについては、個別に確認を実施したところ以下のとおり。

・上限価格の変更を失念し、変更前の上限価格19.51円/ΔkW・30分で応札。精算時に取引会員からTSOに上限価格超過分は返還することを確認済み。

・持ち下げ供出に係る上乗せ分の価格が15.86円となっており、この価格は精算上は支払われない便宜的な価格であることを確認済み。

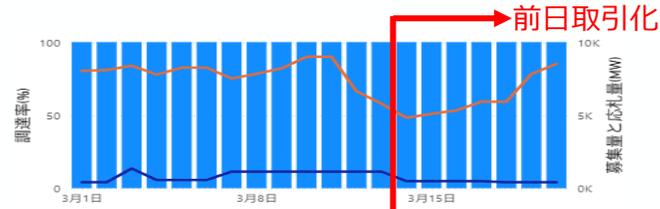
# 前日取引化以降の調達率・募集量・応札量 (2026年3月1日~2026年3月20日)

## 北海道エリア

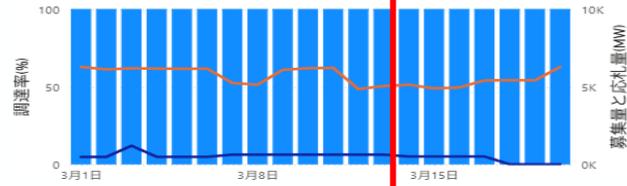
## 東北エリア

## 東京エリア

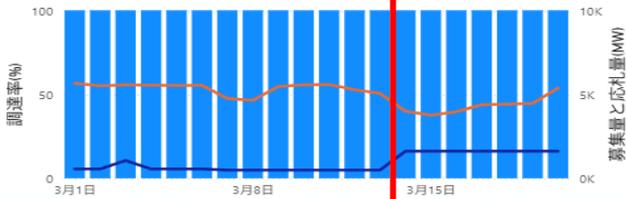
一次調整力



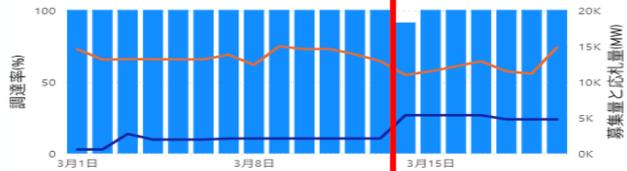
二次調整力①



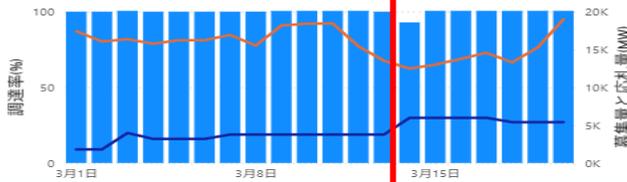
二次調整力②



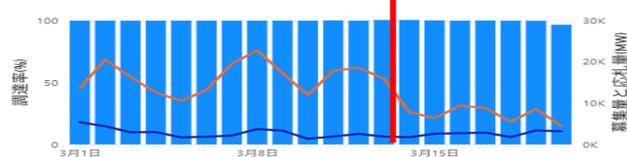
三次調整力①



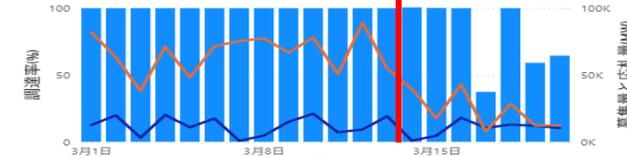
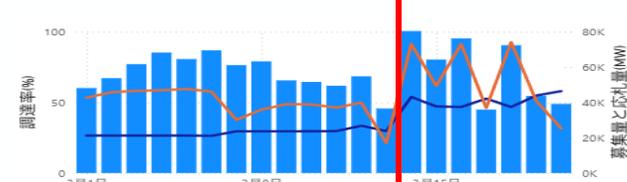
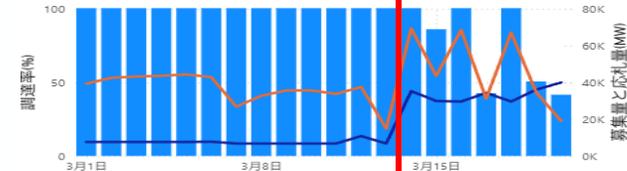
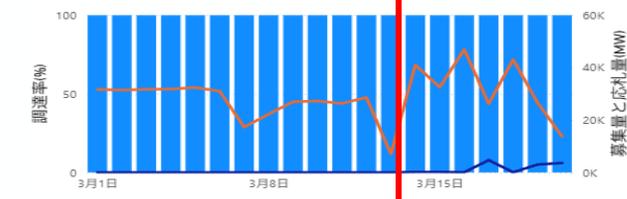
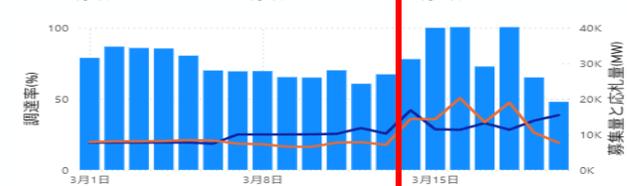
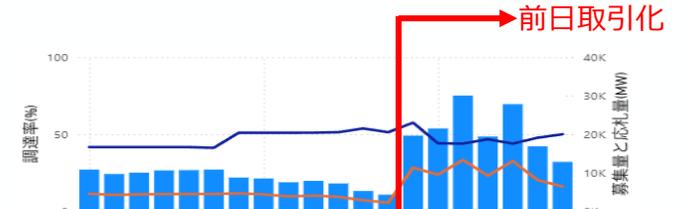
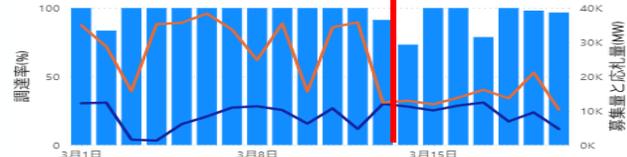
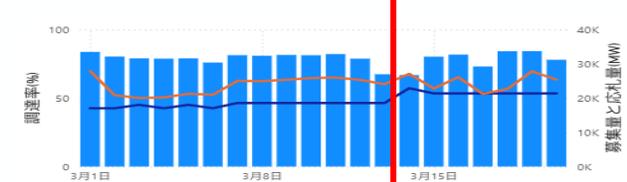
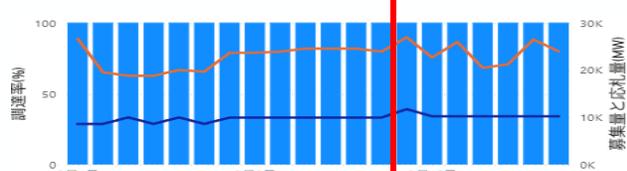
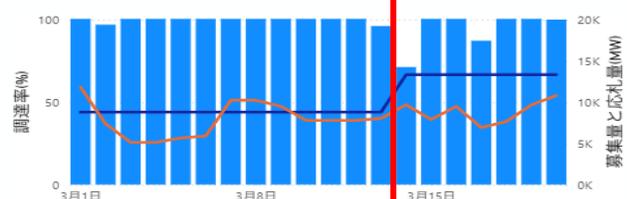
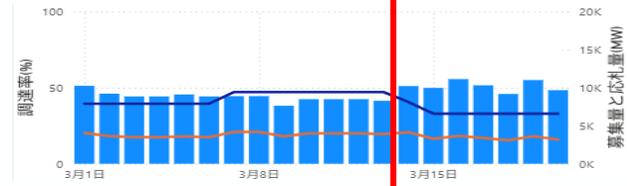
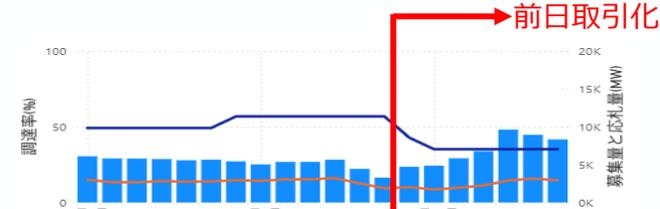
複合



三次調整力②



一次調整力



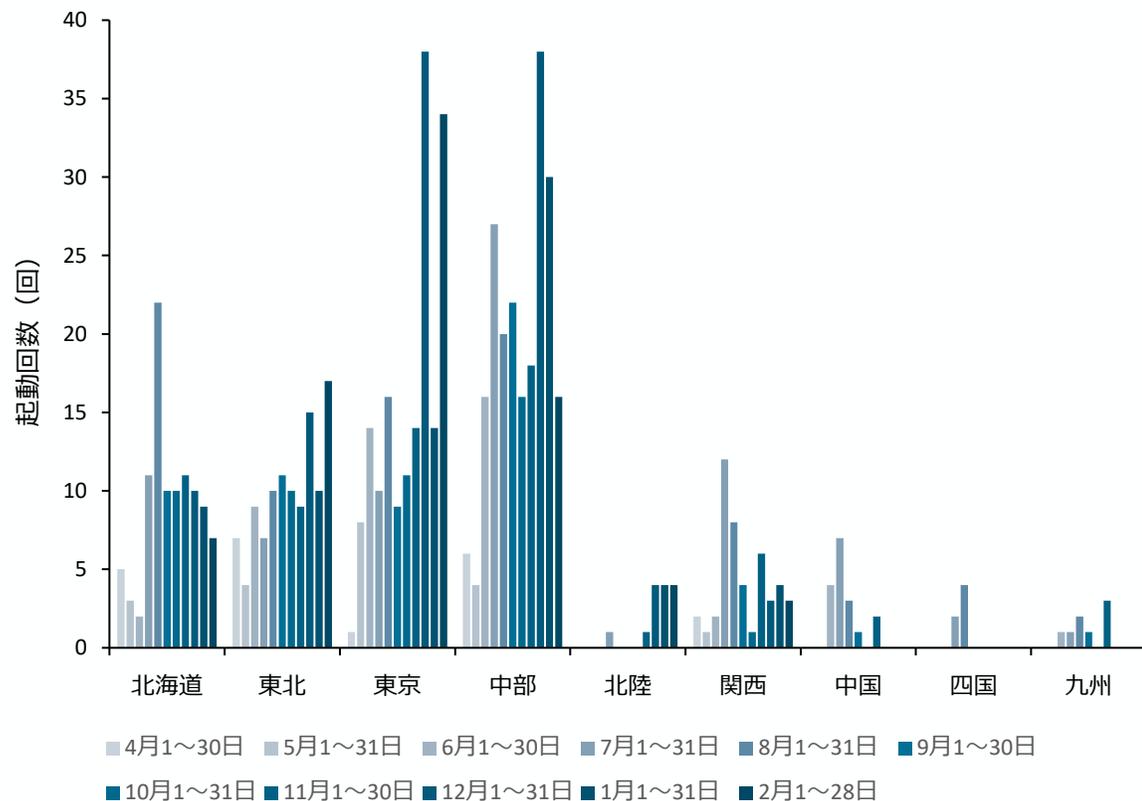




# (参考) 余力活用契約に基づく起動指令について (2025年4月1日～2026年2月28日)

- 2026年2月までの余力活用契約に基づく起動指令の回数について確認した。
- 引き続き動向を注視していく。

余力活用契約に基づく起動指令の回数



(※) 上グラフの対象は、BG計画上停止していた電源（GC以降に調整可能な電源を除く）の追加起動としている。

起動費と最低出力費用（2月は速報値）

	北海道	東北	東京	中部	北陸
4～6月	5.0億円	20.9億円	5.3億円	9.3億円	—
7～9月	21.4億円	7.6億円	19.4億円	32.6億円	0.2億円
10月	6.7億円	4.0億円	8.2億円	2.3億円	—
11月	4.4億円	0.3億円	7.7億円	5.4億円	0.2億円
12月	5.3億円	0.6億円	7.4億円	8.7億円	0.5億円
1月	13.2億円	1.2億円	9.3億円	12.1億円	0.9億円
2月	7.1億円	0.4億円	10.3億円	0.7億円	0.6億円

	関西	中国	四国	九州
4～6月	1.8億円	0.9億円	—	0.2億円
7～9月	11.1億円	2.8億円	2.0億円	6.5億円
10月	1.2億円	—	—	—
11月	3.4億円	0.6億円	—	1.3億円
12月	0.8億円	—	—	—
1月	1.5億円	—	—	—
2月	2.1億円	—	—	—

(※) 上表の費用には、起動済電源の余力を調整力として活用したコスト等は含まれておらず、余力活用電源の運用コスト全体を表しているわけではない点に注意。

(※) 2月は事業者から報告があった費用（速報値）のみ集計（中部エリアは起動費のみの報告のため、最低出力費用は来月以降の報告で反映予定。）

# (参考) 起動費等・経済差替に伴う事後精算について (2025年4月1日～2026年1月31日)

- 起動費等事後精算及び経済差替に伴う事後精算の実績（2025年4月～2026年1月）は以下のとおり。
- 引き続き動向を注視していく。

## 起動費等事後精算

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
4月	0.5億円	—	0.1億円	—	—	—	0.2億円	—	—
5月	—	—	0.5億円	0.0億円	—	—	0.1億円	—	—
6月	—	—	0.6億円	—	—	—	0.0億円	—	—
7月	0.3億円	—	0.4億円	0.0億円	—	—	0.1億円	—	—
8月	1.9億円	—	0.2億円	0.0億円	—	—	0.0億円	—	—
9月	2.7億円	—	0.3億円	0.1億円	—	—	0.4億円	—	0.0億円
10月	4.2億円	—	0.0億円	—	—	—	—	—	—
11月	5.4億円	—	—	—	—	—	—	—	—
12月	4.7億円	—	—	—	—	—	—	—	—
1月	4.6億円	2.3億円	—	0.0億円	—	—	0.0億円	—	—

## 経済差替に伴う事後精算

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
4月	—	—	—	0.8億円 (304件)	—	—	—	—	—
5月	—	—	—	1.4億円 (655件)	—	—	—	—	—
6月	—	—	—	1.4億円 (499件)	—	—	—	—	—
7月	—	—	0.0億円 (2件)	1.2億円 (387件)	—	—	—	—	—
8月	—	—	0.0億円 (18件)	0.9億円 (273件)	—	—	—	—	—
9月	—	—	0.0億円 (17件)	2.9億円 (1,223件)	—	—	—	—	—
10月	—	—	0.0億円 (6件)	5.2億円 (2,156件)	—	—	—	—	—
11月	—	—	0.0億円 (1件)	3.3億円 (1,762件)	—	—	—	—	—
12月	—	—	0.0億円 (41件)	2.7億円 (1,338件)	—	—	—	—	—
1月	—	—	0.1億円 (86件)	3.0億円 (1,749件)	—	—	—	—	—

(※) 1,000万円未満は0.0億円と記載。

(※) 各一般送配電事業者からの情報提供に基づき事務局にて作成。

(※) 経済差替に伴う事後精算額は、一般送配電事業者から発電事業者への精算額。括弧内は経済差替実施件数。

1. 3月中旬までの需給調整市場の動き
- 2. B種電源の固定費回収状況（10～12月）について**
3. 需給調整市場の監視状況の報告

# B種電源の固定費回収状況の報告（2025年10～12月）

- B種電源は、固定費の回収状況を3ヶ月に1回、監視等委員会事務局に報告することとされている。
- 12月までに協議が整ったB種電源36件について、第3四半期（2025年10～12月）までの固定費回収状況を確認したところ、約定実績に基づき適切に回収額が管理されていることを確認した。
- また、それぞれのB種電源の累積の固定費の回収率は、リソースごとにばらつきがあるが、0～91%程度であった※1、2。
- 引き続き、1月以降の回収状況についても確認を行っていく。

（※1）固定費回収率0%の理由：電源等の点検や応札方針の変更等により、応札開始できていないため等。

（※2）B種電源の一定額の諸元となる固定費回収の上限額（＝当年度分の減価償却費等を含む固定費から他市場収益で得られる収益を差し引いた額）に対する回収率。電源にかかる当年度分の固定費全体に対する回収率ではない点に注意。

1. 3月中旬までの需給調整市場の動き
2. B種電源の固定費回収状況（10～12月）について
- 3. 需給調整市場の監視状況の報告**

# 需給調整市場の監視状況の報告

## 最小約定希望量の過剰設定について

- 需給調整市場では、入札時に事業者が**最小約定希望量（約定可能な最低 $\Delta$ kW）**を設定することが可能とされている。
- 最小約定希望量は、電力需給調整力取引所の取引ガイドによれば、「**入札量に対して落札量が少量となった場合に、リソースの特性によっては許容範囲内の制御が困難となる**ことが考えられる」ことから、設けられている。
- 第15回制度設計・監視専門会合（2025年11月21日）において御報告させていただいたとおり、**最小約定希望量の設定により過調達が発生するケースがあり、過大な設定は需給調整コストが不必要に増加するだけでなく、より安価な札が不落になるといった競争に影響を与える懸念もある。**
- このため、**最小約定希望量の設定の考え方について調整力提供事業者ヒアリング**を行い、それを踏まえて、適切な設定の考え方について検討を行った（次頁）。

### 2-5. 約定

#### b. 調達費用最小化による 約定イメージ

303

- 最小約定希望量とは、約定可能な最低 $\Delta$ kWを意味しております。
- 入札時点において登録していただく**最小約定希望量は、入札量に対して落札量が少量となった場合に、リソースの特性によっては許容範囲内の制御が困難となることが考えられることから設けておりますが、必要量の残り未約定量との関係において、下図のように取り扱われます。**
- 全量に限定した約定を希望される場合は、約定希望 $\Delta$ kWと最小約定希望量を同値にして入札してください。
- 約定希望 $\Delta$ kWに対して最小約定希望量が小さい場合、最小約定希望量を下限値として、部分約定となる場合があります。
- 複合商品に入札する場合の最小約定希望量は一つのみ入力することができます。

# 需給調整市場の監視状況の報告

## 最小約定希望量の適切な設定について

- 最小約定希望量の設定の考え方について、調整力提供事業者にヒアリングを行ったところ、その設定目的としては、概ね以下に分類される。
  - 負荷追従等に係る電源等の技術的な制約により需給調整市場におけるアセスメントⅡ※違反を回避するため
  - 電源等の技術的な制約がないにも関わらず、最小約定希望量を応札量と同値等過大に設定することで、部分約定を回避するため
- 上記のうち、負荷追従等に係る電源等の技術的な制約によりアセスメントⅡ違反の回避を目的とするものについては、そのリスクが適切に見積もられている場合には、最小約定希望量の本来の主旨に照らして、問題はないと考えられる。
- 他方、電源等の技術的な制約がないにも関わらず、部分約定を回避することを目的とした最小約定希望量の設定は、本来の主旨とは異なり適切ではないと考えられる。また、負荷追従等に係る電源等の技術的な制約によりアセスメントⅡ違反の回避を目的とする場合も、そのリスクは適切に見積もられるべきと考えられる。
- 今回の事業者ヒアリングを通じて、最小約定希望量を本来の主旨とは異なる設定を行っていること、又はアセスメントⅡ違反のリスクを過大に見積もる設定を行っていることを把握した事業者に対しては、適切な設定を行うよう指示し、是正されたことを確認した。
- なお、今後も最小約定希望量が適切に設定されるよう、需給調整市場ガイドライン及び電力需給調整力取引所が公表している取引規程等にも明示的に規定することとしたい。ただし、需給調整コストの不必要な増加を防止するとともに、適切な競争を促す観点から、これらの改定を待つことなく、本整理に基づく対応を求めることとしたい。

(※) アセスメントⅡでは、 $\Delta$ kW約定量の範囲内で、一般送配電事業者からの指令に従い実際に応動していることを確認。指令値から落札された $\Delta$ kWの $\pm 10\%$ が許容範囲であり、これを逸脱した場合はアセスメントⅡ違反となる。

# 各エリアの募集量・応札量・調達率の動向

## 各エリアの募集量・応札量・調達率の概況（2025年4月1日～11月10日）

- 2025年4月1日～11月10日の募集量、応札量及び調達率の状況は次頁以降のとおり。
- 一次調整力については、依然として**多くのエリアで未達が多い状況**。
- **複合商品の動向はエリアによって様々であるが、直近、多くのエリアで応札量が募集量を超過している状況**。  
 なお、**東京エリア**では、10月11日実需給分から揚水発電の随意契約の締結に伴う募集量の見直しが行われていることから、**募集量が減少**している一方、**応札量の減少は見られなかった**。  
 また、**東北エリア**では、随意契約を結んでいる揚水発電機が9月から10月下旬まで計画停止していたことや、市場外調整力（自然体余力）の控除量が低下したこともあり、**募集量が増加**している。
- また、調達率の動向を注視していく中で、応札事業者が応札時に設定する最小約定希望量（約定可能な最低 $\Delta$ kW）を起因とした過調達が発生していることがわかった。現在、最小約定希望量の設定の考え方については明示的に整理されていないため、応札事業者に最小約定希望量の考え方についてヒアリングを実施したうえで、必要に応じて本会合において御議論いただくこととする。

### <参考>

- 2025年4月 中部及び東北エリア 揚水随契開始（※中部エリアは2024年度も実施）
- 2025年4月 全エリア EPPS動作期待分の控除開始
- 2025年6月 全エリア 自然体余力の控除開始
- 2025年7月 北海道及び関西エリア 揚水随契開始
- 2025年10月11日 東京エリア 揚水随契開始